

「共感する力」

あの人の心の苦しみがわかる。あの人のやるせない気持ちがわかる。そのように他人のもつ真実のものに共感できるのは、地球上の生き物の中で人間しかいない。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

あけましておめでとうございます。今学期も残すところあと3カ月となりました。保護者の皆さまのお力添えのおかげで無事新年を迎えられたこと心より感謝いたします。

年末年始の連休を終え、久しぶりの保育園生活が始まり、寂しくなっちゃったAさんに、Bさんは頭を撫でながら「寂しくなっちゃった?」「お母さんに会いたくなっちゃんだね」「友達も先生もいるから大丈夫、さみしくないよ」と声をかけてくれました。泣いていたAさんは友だちに共感してもらえたことで少し気持ちが落ち着き次第に笑顔で遊び始めました。声をかけてくれたBさんは、日頃から周囲の人に受容され共感してもらえているという経験があるからこそ、友だちの気持ちを感じとり、寄り添おうとしてくれたのだと思います。日頃の保育の中で心がけていることは、子どもたちの気付きや表現を大切にしながら一人ひとりと共感することです。悲しい、不安、困った時にそばにいて共感してくれることで、たとえ解決に結びつかなくても、心が軽くなり前向きになる力になります。また、嬉しい、楽しい時には共感してくれることで喜びも倍増していきます。自分の気持ちを分かってくれるという安心感を持ちながら子どもたちがのびのびと過ごせるよう努めていきたいと思っています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

1月聖句

一緒に喜んでください。

ルカによる福音書 15章1節～7節(6節)

1月主題

「いっしょに」 0歳

- ・神さまにまもられていることを感じる。
- ・保育者や友だちと一緒にいることを喜ぶ。
- ・自分でやってみようとするが増え、いろいろなことを試してみる。

「いっしょに」 1・2歳

- ・皆が神さまに守られ、愛されていることを知り、一緒に喜ぶ。
- ・友だちと関わりながらごっこ遊びを楽しむ。
- ・外気に触れながら、冬の自然の中で身体を動かす。

～子どもたちの姿～

新春のお慶びを申し上げます。新しい一年が皆様にとって笑顔があふれる年になりますよう、お祈り申し上げます。先月行われたクリスマス祝賀会では、いつもと異なる雰囲気になりに少し緊張している様子でしたが、身体を揺らしたり、リズムに合わせて手足を動かしたり、くるくる回ったりと皆で踊る楽しさを味わうことが出来ました。子どもたちは日々の生活や遊びの中、衣装を身に纏いなりぎり遊びをしたり、歌を歌ったり、様々な音に出会うことで表現したいという意識の芽生えが育まれてきました。保護者の皆さまにも、成長を感じて頂ける機会になった事、嬉しく思います。

今年度も残り3ヵ月となりました。引き続き「みんなで考えるSDGs」未来のために～をテーマに、人とかかわる喜びやその力を育めるような活動を行っていききたいと思います。



	月	火	水	木	金	土	日
1月の予定表							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9 成人の日	10 身体測定	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20 避難訓練	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31 クレイシュ通信					
	<small>©インフルエンザなどの感染症が流行する季節です。いつもと様子が違う様子がありましたらお伝えいただき、風邪症状などがある場合は早めの病院受診をお願いいたします。</small>						